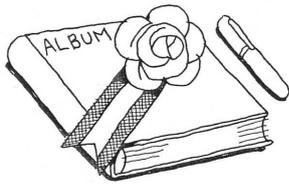


ひまわり



令和4年3月3日(木)

卒業式に思うこと



♪桜舞う四月の教室で 波打つ胸をはずませながら……いつのまにか時は流れ もう今日は卒業の日 人はいつか旅立つものだけど いつの日にかまたどこかで 会える気がするからね 輝く日々を忘れないで……♪

川嶋あいさんの「旅たちの日に…」の一節です。3年生の担任をしていた時、卒業式の前日に、クラスの生徒が歌ってくれた思い出の曲です。

卒業式まで、本日を入れてあと9日となりました。3年生の皆さんにとっては、中学校生活を振り返ると、たくさんの思い出が甦ってくることでしょう。卒業までの、残された日々を大切にしてください。

日本では、小中学校の9年間は義務教育としています。「義務教育」を簡単に説明すると、国民が身につけるべき教育の基礎的な部分を、誰もが等しく自分のものにできるように、国が保障する教育制度です。もちろん、日本に住む外国人も同様に義務教育を受けることができます。

教育の基礎的な部分とは、次のようなものであり、教科学習・行事・部活動など、さまざまな教育活動の中で学びを深めていきます。

- ・知識を蓄え、考え判断する力をつける。
- ・道徳性を養い、社会性を高めていく。
- ・生涯にわたり健康でいるための体や心づくりをする。

同時にこの9年間は、皆さんが保護者・先生・地域の人など、多くの人に守られながら育ってきた期間です。

さて、「卒業式」の正式名称は、「卒業証書授与式」といいます。つまり、「卒業証書の授与」がメインの式典です。また、これまで皆さんを守り育ててくださった多くの方々への感謝の気持ちを表し、中学校卒業後の生活への決意を新たにする場でもあるのです。

そこで、卒業証書授与式では、「感謝の気持ち」や「新たな生活への決意」を行動で表してください。具体的には、「入場」「起立・礼・着席」「名前を呼ばれた時の返事」「証書授与の所作」などで、私たちは9年間でここまで成長しましたという姿を見せてほしいのです。

3月11日、73期生174名が、厳粛な雰囲気の中で、大きく成長した姿を保護者や先生に見せてくれることを期待しています。